



謹賀新年

乙未三碧木星

有宵会だより

第67号
発行所
特定非営利活動法人
岳易館・有宵会
編集 広報部
松戸市新松戸1-6

新年のご挨拶

福田 有宵

新年を迎えまして謹んでご祝詞を申し上げます。NPOの会員、一般のご支援の方々、各教室の同人の皆様にご挨拶申し上げます。ご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

さて今年の干支は乙未。九星は三碧木星の歳で、十干の乙とは説文により春のはじめに草木の芽がかがまるように生え出す形とするが、乙は五行において木にあたり、方角は南にあたり、音において軌、すなわちきしる意であることです。

乙の形を最も明確に含むは乱であり、乱は糸がせの糸がもつれて上下より手を加えて解こうとしている形です。

未の象形は枝葉の茂る木の形、説文では味なり六月滋味なり、木の枝葉を重ねるという意味となります。

そして十二支の神獣となるのは羊です。羊は性

質柔順従順で獸類中の君子なりと称えられているなど。羊と書く字は美善、祥、義などがあり、羊は祥なりといわれ吉祥の意で縁起が良いなどと諺では読書亡羊、多岐亡羊羊質虎皮、羊頭狗肉、羊の歩みなど多数。

『孔子曰く牛羊の字は形を以て拳ぐ』と説文に書かれていますが、孔子の言葉かどうかはわかりません。羊は古い時代から犠牲などに用いられ、神聖なものと考えられていた。羊は祥ありといわれる由縁です。

羊の文字もなかなか面白いもので、殺とか羝と、というのには、とが群と、というのには、牝のこと。白い羊は粉、黒い羊は黓とい、生れて五カ月になつたのは、六カ月のは、と、というなど、パソコン文字には無いかもしれませぬ。

大漢和辞典には羊に関する字は百八十八あるようです。その中でも

『羝羊籬（テイヨウマガキ）に触る』といわれているのは、易経の文章で雷天大壮の上六にあり、この雄羊は一度籬に触れて角を突き入れると退くことを知らない猪突猛進のことです。未年生まれは柔和だと言いますが、この羝羊だけは特別です。羊の字のついた食物は羊羹が有名ですね。

孔子に逸話があり、魯の政治に関与したときにずるい羊飼いが毎朝羊に水を飲ませ、薄い羊乳を多くの人に売りつけて巨利を得ていたが、孔子が国の政を執るようになってから恐れて羊に水を飲ませるのを止したという。これは孔子の人のなりの廉直を懼れたものです。

孔子、孟子、荘子がそれぞれに羊を引き合いに出しての教訓があり、孟子は羊を殺すなといい、孔子は羊を殺しても惜しくないかと教えて導いていきますがいかがでしょうか。

ここで興味深い事実があり、わが国上古においての鹿占です。古事記の太占に鹿の肩骨を灼いて占う。中国は亀甲を用いる卜法、また蒙古方面の遊牧民にとり卜骨は最も

大事な羊の肩骨です。わが国は羊がいなかった。鹿を代用したという説があります。

最後に羊の故事ですが羊頭狗肉とは、看板に偽りありのこと。

屠所の羊とは死にゆくとき羊はおとなしいが、牛や馬は抵抗するという様子や馬を諭えているのです。未の料理でまずいものがないという。これは空腹の午後二時過ぎに食べると美味なのでしょう。

さてさて未年には相場に変動が多いので今年はどうでしょうか。

新年にあたって

牧野有峰



新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては穏やかな新春を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は四（発光ダイオード）を発明した三人のノーベル賞受賞者が報道され、日本の技術水準の高さを世界に示した快挙でした。それに加えて生命の起源を探る小惑星探査機「はやぶさ2」が私達の夢を乗せて約五億キロメートルに及ぶ、長いながい宇宙の旅に出ました。地球帰還は五年後（二〇二〇年）東京オリンピック終了後とのことです。

今年未年。十二支では子から始まって八番目、方位は西南方、陰気がすでに長じて

万物がやや衰え始める頃、季節は晩夏、土用です。動物では羊に当たります。

羊は中央アジア高地などの野生種が家畜化され広がり、本格的に飼育が始まったのは明治以降と



福田 有宵

のことです。群をなす羊は家族の安泰と平和のシンボルです。

不透明で決して明るい年とはいえませんが、干支の末にあやかり、幸せ感を体感する平和な年になりようではありませんか。今年が皆様にとってよい年になりますことをご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

吉田侑加



明けましておめでとうございます。

NPO法人岳易館・有宵会会員はじめ関係各位の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は消費税増税の影響もあり、お客様からのご相談も経済問題が多く現状の厳しさを感じているところ。企業間、

個人間においても格差社会は徐々に広がってきています。今年は多くの方々に少しでも心豊かに過ごしていただきたいと願わずに入られません。

さて平成二十七年は乙未・三碧木星の年になります。十干の乙という文字は、草木の芽が曲がりくねっている象形であるため新しい改革、創造の歩は進めてもまだ外からの抵抗が強いという意味があります。しかし紆余曲折があってもそれを進めていく気概を持って力を尽くすということが課題の一年であることを示しています。また乙は気が利いて味わいのある様お疲れさまという意味を含んでいます。

十二支では未年になります。未は祥に通じ中国の吉祥動物の一つです。群れをなすところから家族の安泰を表わすとされ、いつまでも平和に暮らすことを意味しています。未の特徴としては、穏かで人情に厚いとされています。また財テクの才能があるとされ、財を成すのに向いてる人も多いようです。日本には未神社という

名前の神社が二ヶ所あります。群馬県安中市の未神社と名古屋市の未神社です。名古屋の未神社は境内のあちらこちらに動物の末のモチーフ(狛犬ならぬ狛末)があり、しめ縄をまいた親子の未像など新年にふさわしいものもあるようです。

会員の皆様におかれましては、未にあやかり家族仲良く穏かな年になりますようにお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

九星と易断による

二月・三月の運勢

気学では寅二月

二月四日(立春)節入り

破

天	道	
4	9	2
3	5	7
8	1	6
生	気	

気学では卯三月

三月六日(啓蟄)節入り

破

天	道	
3	8	1
2	4	6
7	9	5
生	気	

一白水星の人の運勢

二月筮一 天地否の六一
三月筮一 天風姤の九三

二月は平穏さで過ごすのがよく肩肘を張らない。仕事は守りを固めるのが家族の絆深く愛情濃密に。対人面は低姿勢で無理をしない。書類の忘れや非管理、隠れ金の出費用心。冷えと風邪、足腰対策を。三月は備えあれば憂いなしで貯蓄方針。出る杭は打たれるので控えめに。仕事は小さなミスが禍いの種。気持ちの温もりとなる誉め言葉。消化不良循環器、発熱や疲労気味。

二黒土星の人の運勢

二月筮一 巽為風の九五
三月筮一 坤為地の初六

二月は安全方針で変わったことには手を出さない。予定や希望は長引くので焦らず。旧友や親戚付き合い慎重に進める。わが家に母の味と愛あれば来福、会話不足は損多し。気管、歯、ストレス用心。三月は遠慮なく活力を押し出す。目的達成には強引さも必要。ただし仕事は慎重に家庭は決断を早くする。収入を図り支出を制するが愛情は末吉。

三碧木星の人の運勢

二月筮一 山雷頤の六五
三月筮一 地雷復の六一

二月は活気あり目標を決める。仕事とお金が絡むので慎重に。住居の修理や庭木の手入れなどに着手。趣味仲間と勉強や外出はお洒落と美食を楽しむが女性上位のムード。気疲れ、胃肝、腎泌尿等。三月は予期せぬ出費が続く見栄を張らずに。頼まれても安請け合いは禁物。何事にも油断は禁物です。しかし不調箇所は復調の兆しで喜ぶ。風邪、胆肝、腹中張り等。

四緑木星の人の運勢

二月筮一 天風の九三
三月筮一 沢雷随の九四

二月は公私にスムーズ。対人面は信頼で結ばれる。家庭に記念の喜びや良縁など出会いを待つ。人に人情あり、わが家は噛み締める高目の愛情に恵まれるが買物は高値払い。気管支と胃腸の疲れなど。三月は気忙しく落着きが少ない。用事も家事も手抜きせず丁寧に処理をする。社交は煩わしいが気を遣う。夫婦や親子の

五黄土星の人の運勢

二月筮一 火山旅の初六
三月筮一 地風升の九三

二月は相変わらずの忙しさが続くが気負いせず。業務は遅く強引になりやすい下旬慎重に。家庭内の整頓で掘り出し物出現。金銭面は安定、三人寄れば文殊の知恵生かす。風邪熱、足腰の筋肉痛注。三月は活気が漲るので意気上がる。無欲の結果に利益あり協調の心がけが大切。支援者引立てを素直に聞いて吉。思考の牙えは世間の情報にあり。疲労、頭痛、血行不順。

六白金星の人の運勢

二月筮一 地水師の九二
三月筮一 坎為水の二六

二月は真心が福を招く嬉しさと日頃の努力が実を結ぶ。親や年長者尊重でウマクいく意地は詰らぬ無駄。家業は飽きないで着々と務めたし。家産相続、墓参の思いが募る。気管、循環器、持病再発。三月は何かと気を遣い思い煩う。予定変更には上手に変更を。ウツカリ発言注意やバックや財布

の出し入れ危ない、愛情運が飛び抜けて良さそう。食事と歯、のどと神経。

七赤金星の人の運勢

二月筮一天山遯の九三

三月筮一雷天大壮の上六
二月は一息ついでにのんびりと。仕事や業務にまだ難問残るが下旬になれば收拾か。金銭は修理か部品代の払いや飲食費など。若年者に異性運が出る喜びや運動を楽しむ。

口腔と歯の胃の具合など。三月は古きを尊重して吉。諸事に一進一退の運びがあり急がずに。仕事を甘く見ると失敗入りにチエツクする。生活方針の計画は続けるのが有益。首肩と足腰の関節節など。

八白土星の人の運勢

二月筮一雷天大壮の九四

三月筮一風天小畜の九二
二月は自信勝利強気の態度に本音が出やすい。冠婚葬祭は過去にこだわらず義理を重んずる。才能や特技を生活に生かす工夫、周囲へ人助け陰徳を積む。愛情に齟齬あり。気疲れ、胃腸、皮膚症。

三月は視野を広げ人に接して人気高。心はいつまでも青春を忘れずに。

公用使用共に肩の力を抜いて爽やかに対処。家庭器具購入や他に散財あり。頸肩頭の疲れ、歯か視力。

九紫火星の人の運勢

二月筮一兌為沢の上六

三月筮一雷水解の六五
二月は初心貫ぬいて好結果。諸事スムーズにいくので安心を。おもてなし上手な社交術、手紙やメールで気持を繋ぐ、多事雑用の毎日を几帳面に処理。陽はまた昇り安心。のどと歯、打撲、高血圧。

三月は慎重に構えて分相応でいく。先祖との関わりに墓参の心。ときには人の好意に甘えて良く見込み違いには改め直すのが賢明。団欒の苦労話に花が咲く親子の絆なり。冷えと風邪、足腰に用心。

福田 有宵



十一月有宵会報告

今中 陽子

昨年十一月二十一日(土)

に平成二十六年最後の有宵会が、勤労福祉会館「プルミエ」於いて佐藤宗暎先生の司会のもと、開催されました。



第一部は牧野有峰先生ご講演、第二部は福田先生のお話でした。

牧野先生は文字学の第一人者、故・白川静先生の直屬の伊藤信夫先生から古代易、文字学を学ばれており、今回のご講演は文字占いについてでした。占いはそのほとんどが中国から渡ってきたものですが、測字占は中国や台湾では盛んなのですが、日本ではあまり紹介されていません。しかし、日本でも中村文聰先生、佐藤六龍先生が中国の六書をもとに文字占いを大成されたそうです。

牧野先生からは詳細なる資料を頂きましたので、そこから抜粋したものを記載いたします。

第一部「文字占い」

日本人と日本語と切っても切れない関係にある漢字は、その名の通り中国からもたらされたものです。その漢字の成り立ちは、亀の腹甲や獣骨に刻み込まれた甲骨文字が始まりと考えられています。

この甲骨文字は今からほぼ三千三百年前に、古代中国の殷王朝において王室が占いに用いていたものでした。

やがて、この甲骨文字から、青銅器を製造する際に鑄型で作られた金文に移行します。

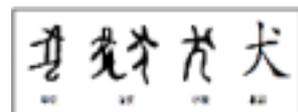
甲骨文字は獣骨に刻み込むため、直線的な文字でしたが、金文は柔らかな曲線と肉太な線を持ちます。

この甲骨文字と金文が漢字の基本と考えられます。

漢字と他の文字の差は、例えばエジプトのヒエログリフとでは、漢字はその形象をほとんど原形のままに保ち、当初与えら

れた意味をも遺存しつつ、現在に至るまで使われ続けていることにあります。時代が下るにつれて、石に文字を刻む石刻、文字を書くための竹の札である竹簡、木の札である木簡が登場し、筆さばきや書としての美を求めめるようになります。

これが書道の原点でしょう。後漢の時代には「説文解字」という文字の字形の研究が行われ、部首によつて字形の説明がなされました。



「説文」は、私たちが占いを学ぶ人間になじみの深い、陰陽五行の思想に基づいて、一より発して三となり万象となり、万物は十干十二支で循環するといふ、文字の全体を一緒の自然観に合致する思想体系をあらわすものとして説明しています。「説文」には六書という六通りの漢字の構成法を

あげており、それが「心易六法秘伝」の基となっています。六書は以下のことを指します。

一・「象形測法」

絵文字、ものの形をそのまま象る、ものの形を写し取るることによって作られた文字です。例えば、日は丸い太陽の形の中に、中身が空っぽでないことを示すために小さな点を加えたもの、月は満ち欠けるので三日月の形にするしたもの、大は手足を広げている人間の姿、女は手を前に重ねて跪いている姿等があります。

二・「指事測法」

符号や象形文字を組み合わせて、形のない事物を示すことをいいます。事物の関係を表わす時等に使われます。

三・「会意測法」

二つ以上の字の要素、象形や指事の字を組み合わせて、新しい、複雑な意味を表わすものです。例えば「信」は人と、言(神に誓いを立てた言葉)を組み合わせた形で、神に誓いを立てた上で、人との間に約束したことで、「まこと」という意味に

なります。

四・「形声測法」

文字を二つの部分に分けて、片方は意味を表し、残りの半分は音を示します。例えば江と河では、「扁」は水を表わす「さんずい」で「旁」は音を表わし、江は工から「コウ」、河は可から「カ」となります。

五・「転注測法」

文字の作り方でなく、使用法を説いたものです。六・「仮借測法」音の似ている文字を借用して表わす方法です。

これらの知識を踏まえて行うのが文字占いで、この種類は十二に及びますが、そのうちの「八卦測法」についてご説明します。

「八卦測法」

この測法は、易を応用して判断するものですが、同時に本字を学ばなければ出来ないものです。また、イメージを膨らませて判断することが大切です。

文字は小成八卦の象意や五行、十干十二支を踏まえて判断します。別添の資料に記してあるように、文字の一部に

八卦の代表的意義を表わす文字が含まれていた場合に、その代表の易卦を取ります。

但し、部首の位置によるので、どの位置にあるのがポイントです。一般に扁を外卦、旁を内卦と見ます。

例をあげますと、「奏」という文字は、分解すると、乾の代表文字である天と漢数字の三を含むので、乾为天の三爻。

「案」という文字は、女性を表わす代表である兌と、巽を表わす木の組み合わせで、「沢風大過」ととりまします。

「酒」という文字は、水を表わす「さんずい」で坎、酉は兌の方位であることから、やはり「沢風大過」と見ます。

炎は離の代表文字の火が重なっているので、「離為火」となります。

文字占いには字を分解して判断する方法もあります。以下はその故事を記します。

徳川家康の祖父で三河の小領主である清康が、手の平に「是」という文字を握りしめていた夢を見ました。

お抱えの占い師にその意味を尋ねると、是という文字を分解し、これこそは、この家から天下人を生み出す吉兆と言ったそうです。

是は日、下、人に分けられまします。日は太陽、天と見まします。これを読むと天下人となるわけです。

また、太陽は定位盤の上は南、であることから判断できます。もうひとつ例にとりましますと、塩問屋の一人娘が奉公人に恋をして、駆け落ちしたいと思いますが、その当時、跡取り娘が駆け落ちなどした日には、百年以上続いた老舗を潰してしまします。

思いあぐねて 占い師に相談に行きますと、その占い師は娘に文字を一文字かかせまします。彼女が書いた文字は「天」という文字でした。

それを見て占い師は、奉公人もあなたを気にしてはいるけれど、まだ結ばれてはいませんね、と言いました。

彼もお店のお嬢様とでは自分ではどうにもならないうでしようから、誰かに間に入ってもらうとよい

でしようと答えました。いつ頃ですかと問う娘に占い師は三ヶ月後と言いました。

なぜ、この答えが出たかというと、まず「天」という文字を分解します。「二人」となるので、相思相愛であるけれど、「夫」となるには上が突き出なければなりません。

そこで、仲介人に入ってもらい、天の上を出して夫とします。また、時期については天に縦に一本長い線をいれると「未」になります。

娘が相談に来た日が辰の日との事ですので、十二支で未まで三つ、そこでこのように文字占いには文字を分解したり、意味をとらえたり、いろいろな角度から考察します。

文字を分解して意味を持たせることは、実は日本でもなじみの深いものです。

長寿のお祝いはこれにちなんで名づけられています。

還暦は十干十二支が一回りして、新たに始まることから、七十歳は中国の詩人、杜甫の詩の中から「古代より稀」の一節を取り古稀といいますが、

喜寿は、喜の略字が七十七に分解できることからつけられました。

同様に、傘寿は傘の略字が八十、米寿は米を分解すると八十八に、卒寿は卒の略字が九十に見立てられることからきています。

白寿は、白は百より一画足りないことから、九十九歳のお祝いを言います。

茶の文字が、草冠が旧字体では十が二つ、その下を八十八と分解できることから百八歳のお祝い、皇寿は、白〓九十九、王は(一)、十、(一)と分解できることから百一十一歳のお祝いだそうです。

なお、百歳は、孔子の書から上寿というのだからです。

また漢字には「八反(はちがえり)の秘訣」、「筆法の秘訣(運筆による占断)」、「扁旁の秘訣」というものがあります。

漢字の奥深さを感じました。牧野先生、貴重なお話をありがとうございました。



「第二部」福田先生のご講演「今年(平成二十六年)を振り返る」



平成二十六年三月の有宵会だより(二十五年末占)、平成二十六年版神本社暦(二十五年三月占)に掲載した、平成二十六年の占断をもとに、今年(平成二十六年)を振り返ってみましよう。

占断は易と九星の動きによって行ったものです。九星では「動より吉凶を生ず」と言います。

無難に過ごすということを受け身で過ごすということです。

開運は受け身では出来ません。運は動くことによつて開けていきます。その代表的なものは吉方とりでしょう。

しかし、動くことによつて吉に向かうとは限りません。無事を望むときは受け身で、開運を目指す時は

動いてというように、用途で分けて考えるとよいでしょう。

平成二十六年は甲午の年でした。

暦においては、どの流派でも十干十二支から占法が始まります。

甲は十干の始まりで陽の気、午は南、天の位置にあり、勢いがあります。

五行で見ますと、午は火の属性、四緑は木気です

から、木生火で、木が伸びていく象意があります。

伸びていく会社はどういったところなのか、また十二年前の午年には、どんなことがあったのかを調べておくことも大切です。

九星で見ると四緑木星が中宮に回座しています。

凶神は暗剣がつく三碧と、五黄殺がつく乾宮、午の

対沖の子に歳破がつくので、坎宮に回座する九紫は要注意です。

四緑中宮は四緑が五黄の位置にあるということですから、五黄の影響を受けたものになりますので、

厳しいものになります。健康関係から見ますと、四緑は五黄に同会し、非同会は三碧で暗剣がついています。

風の象意の四緑が五黄にのつたことから、流行病や感染症などの伝染病に注意が必要です。

今年流行した Dengue 熱ですが、虫は三碧と四緑で見ますから、これも暗剣の作用でしょう。

なお、蛹で地中にいるときは坎です。

エボラ出血熱のような風土病は五黄の象意ですが、感染拡大は四緑の風の作用があります。

感染経路は外国航路に關係するので、三碧・四緑を見ますが、やはり暗剣の影響を受けました。

日本は風土病の研究をあまりやっていませんが、風土病はとても怖いものです。

東南アジアやアフリカ等に行くときは特に注意が必要です。

生まれ場所で育ち、生きていくことは免疫上も大切なことです。

次に天候です。四緑の位置に三碧が回座した上に暗剣がついているので、異常気象と取れます。

暗剣の作用でダメージが大きく、長期間続きます。定位盤の坎宮に九紫が回座しています。

火の属性を持つ九紫は太陽と見ます。

太陽が下にありまますから、天候には恵まれません。

土の象意を持つ二黒の位置に、水の象意を持つ一白が回座しています。

平地を表わす二黒に一白の水ですから河川の氾濫と見ます。

氾濫するか否かは、一白の水を坎、二黒の土を坤とみて、水地比とみるか

地水師とみるかで異なります。

坎宮に歳破がつき、九紫が回座することで水火の剋が生じているので、

いものがありますから、地水師となります。

御嶽山の噴火などは九紫の象意ですが、これも歳破の作用です。

振動の象意を持つ三碧の位置に土である二黒が回座しているのは、山崩れを表わしています。

定位盤の星は、なんの事象か、どんな現象があるのかを示します。

年ごとに回座する星は、その動きと変化を捉ええます。

薬・医療関係は九紫で見ます。九紫は坎宮にあり、歳破もついたことから問題が

起きることを示しています。

香港で大きなデモが起きましたが、官民の問題が生じるときは、乾宮に五

黄が回座したときに起きやすいものです。

外交は他国との関係ですが、これは定位盤の巽宮・中宮・乾宮のラインで見

ます。

信用を見る巽宮には暗剣がついています。

また、小笠原沖の中国漁船の赤サンゴ密漁も、定位盤の坎宮（海の中）に

ある九星（火の属性で赤）で赤サンゴと見て、そこに歳破がついて密漁・環境破壊という大問題になっ

たといえます。

凶神の位置は五黄・暗剣・歳破を見て判断していきます。

日本の経済ですが、経済は六白と四緑を見ます。

昔は四緑の年は景気が良いといわれてきました。株は九紫で見ます。

株の判断ポイントですが、一つは定位盤の九紫の位置にどの星は回座しているか、二つめは九紫自体がどこに位置しているか、三つめは気学の相生相克と同会・非同会の関係で

す。

今年の九紫は坎宮にあり、しかも歳破がついていま

す。

定位盤の九紫の位置である離宮には八白が回座しています。

また定位盤の四緑の位置には三碧が回座し、暗剣がついています。

乱降下の荒れた相場と見られます。

ここで株についての予備知識を記します。

高値を表わす星は、六白、八白、九紫があります。

このうち八白は高値保合、九紫は波乱含みと見ます。

安値を表わす星は、一白、二黒、七赤があります。

このうち一白は暴落、二黒は安値保合と見ます。

三碧ははじめ勢いがありますが、後が続きません。

四緑は状況によって様子を変えるので面白い反面、素人には難しいでしょう。また、四緑は中宮にある時は外国の状況の影響をすぐに受ける傾向があります。

非常に飛行機事故の多い年でもありました。

飛行機は六白、九紫、四緑で見ます。

鳥のような飛行機は四緑、格好の良い飛行機は九紫と、状況に応じて象意を出します。

九紫は坎宮で歳破がつき、定位盤の四緑に位置には暗剣がつき、六白の位置には五黄が回座し、六白

自体は兌宮でミスが出る、といった影響でしょうか。

政権については乾宮（六白）で見ます。

この位置に五黄が回座した時は腐敗が露呈します。

通り魔事件の多発についても、若者の象意を持つ三碧には、暗剣がついて

います。

暗剣には、文字の示す通り、刃物の意味があります。

刃傷沙汰の刃物は七赤で見ます。

道徳は南北（正中線）のラインで見ます。

九星の象意で道徳を表わす九紫が、坎宮で下に落ち込んでしまい、しかも歳破がついています。

赤でとることもあります。三碧に暗剣がついているので、通信機器や声を研究した新型詐欺が出てくるでしょう。

警察は九紫で表わし、坎宮で下にいるので、対応は後手に回ってしまいま

最後に、福田先生の測字占の思い出を記します。

二十年以上前に日本テレビの番組で開運シリーズと題して、表札占というものを行ったたそつです。打ち合わせなしのぶつづけ本番でした。

昔は表札に家族全員の名前を出していた時代がありました。表札の文字は書家が書いてものだと思

います。文字の書き方と名前を見て判断するのです。

今、覚えているものとして一つ上げますと、そのご家庭は親子で仕事を

占いには体用というものが

体は理論で、用は働き、意味の取り方です。

理にこだわらず、何を取

中国では筆跡占いが盛んです。

好きな文字を一字かかせ、そこから今日の運勢を占うのです。

例えば「巽」という文字を書いたとします。

体用のち、用の部分から考えますと、巽には調えるという意味があるので、今日の交渉ことはうまく

異を分解すると、己が二つと共になるから、先方は二人組で来る、どっちをメインに話すのかは、書き順で左から書き始めるから、向かって右側の人が話しかけてくるでしょう。

また、音から考えてみて、巽は「ソン」と読みますから、損(マイナスイメージ)があるかなども考慮する必要があるでしょう。

体調面では足元注意などがあげられます。

福田先生、貴重なお話をありがとうございます。



岩槻大師鑑定会

伊東 直子

一月三日、二〇二三年岩槻大師で鑑定をさせて頂いている。

一時間半の道のりにも慣れ、今では楽しみにす

本堂でご挨拶をして「だるま展」の部屋へ。

日本の各地から集められている「だるま」が並んで

癒されたところで、隣の部屋で鑑定の準備。

ある人が「今年の運勢を見てほしい」という事から相談が始まった。

性で接客業を営んでいる。昨年から通院しながら仕事も続けている。働くこ

そくに話してくれた。とにかく前向きで心から人生を楽しんでいる様に見えた。その人のパワーと真剣な思いに感動して逆に励まされたような気が

がした。

結局、七名の方が相談に

御祈願の後で鑑定に来たことを思うと、やはり、お大師様のパワーは凄い

このお大師様を体験したことのない方は一度このパワーを味わっていただきたい。

「光岩山釈迦院岩槻大師彌勒寺」

「本尊「不動明王」。関東三十六不動霊場第二十一番札所。地下佛殿四国八十八ヶ所お遍路道場。

人は自分と波長の似た人を呼び寄せると言います。



出会った人により、今の自分を

今年も岩槻での鑑定から始まり、素敵なご縁を戴



人生はシナリオ通り (その一) 事始め

阿部 治

明けましておめでとございます。人生は、頼まれ事の連続である」とよく言われます。今回の

お話は、四国霊場八十八ヶ所のお砂踏み巡りで有名な岩槻大師様(埼玉県さいたま市)での新春「初」占いのお話でございます。

寒風厳しい師走のある日、福田有宵先生を始め諸先生方と年納めのお食事会をした時の事です。その日は朝から妙な偶然が重なり、予定よりも早く待ち合わせ場所に向かわれていた福田先生と同じ電車

など、不思議の連続でした。何かの予兆かなとも思いましたが深く気にしておりませんでした。し

かしその後、お食事会で先生方と談笑をしていた時、突然福田先生から「そろそろ治さんも鑑定をやりなさい」とのお言葉が発せられたのです。

「あっ?」「えっ? アタシが?」と何度も耳を疑

先生は「星 飛雄馬(巨人の星)」のごとく、燃え上がったのです。右を見て左を見ても、はたまた後ろを見ても、「アタシ」におっしゃっている訳でございます。 「あーれ、妙な予兆はこの事だったか!」とその時初めて気が付きました。もはや燃えた

る福田先生の前では、「YES」か「はい」の答えしか選択肢がありませんでした。年の瀬には、有宵会の重鎮・佐藤宗暁先生がわざわざ小生の職場にお越し下さり、新春「人生初」占いについて

「ぬはーっ、その話は存在してありましたがー!」と逃げまどうのも束の間、すぐに退路は断られました。佐藤先生からは「ま

あ、夫婦で気楽にやりなさい」というお優しい？お言葉を頂き、二〇一四年は慌ただしく幕を閉じました。その後、すぐに新年の未年はやってききました。元旦の午前0時に地元の氏神様で新年のご挨拶をすませると、朝一番で岩槻大師様へと向いました。家内（八川林加）は大晦日に鑑定会の企画書と鑑定会で使用する資料を黙々と作っており、やる気満々の様子でした。とはいえ、昨年とはまるで違う一年の始まりを体験させて頂けるのは不思議なご縁だとつくづく感じました。徹夜明けの家内と数時間仮眠の私は、ハイテンションのまま無事岩槻大師様に到着。何か道路の渋滞もなく自宅から小一時間で到着出来たのは神様、仏様のお導きなのでしょう。元旦は朝から雪がちらつき寒風が吹き荒れておりましたが、お寺は終日活気



に満ち溢れておりました。お大師様、お不動様、ご住職様、お寺の関係者の方々に新年のご挨拶をした後、鑑定のセツティングを開始。お寺の方々にはご住職を始め皆様がとても懇意にして下さり、ピラを好きな所に貼らせて下さったり、ご祈祷にいられた方々にマイクを使って鑑定会の宣伝をして下さったりと、何かと便宜を図って下さいました。何と有り難いご厚意かと感謝の念で一杯でした。朝一〇時になると本堂はすぐにご祈祷される六〇、七〇名の方々に埋め尽くされました。こちらにもご住職のお部屋をお借りしての新春占い。鑑定会は元旦から三日まで行われました。家内は元旦の目標鑑定人数を一〇名と設定しておりました。しかし小生は初デビューの日ですから、寒さと緊張で手は震えるわ、胃が縮んで気持ちが悪くなるわで身体はガチガチでした。こんな経験は暫く記憶にありませんでしたが、家内のフォロワーもあり無事に目標人数一〇名の方々に

とご縁を頂く事ができました。鑑定料は全額お寺にご喜捨させて頂き、ご協力をしてくださった皆様に改めて感謝を申し上げた次第でございます。本年は高野山の開創一二〇〇年記念の年にあたります。このような年回りに岩槻大師様とのご縁を頂き、また夫婦で新春占いの先陣を務めさせて頂く事が出来ました事、心より感謝申し上げます。また、何より小生に鑑定のチャンスを与えて下さった福田先生、佐藤先生、伊藤璃香先生、また当日にご協力をして下さったお寺の関係者の皆様に深く御礼申し上げます。追伸 元旦のお昼には有宵会からお正月らしいお弁当をご用意頂きました。夫婦で慎ましく、楽しく、おいしく頂戴致しました。「人生は自分が描いたシナリオ通りに進んでいる」とそう思えるようになりました。とても味わい深いお正月を過ごさせて頂きました事、夫婦共に初めての事でございました。この度は有り難うございました。 合掌

平成二十七年 新春元旦 NPO通信

お陰様でNPO法人の活動は五年目となりまして。感謝申し上げます。賛助金として左記の方々からのご寄付を頂戴致しました。有難うございました。（敬称略・順不同）
 福田有宵・半田晴詠・伊藤璃香・吉田和子・森本道子・十一月有宵会会場
 有志数名
無料鑑定会参加
 （敬称略・順不同）
 十二月六日（土）江東区北砂町公益財団法人ウィスターフェスティバル
 出演者七名
 福田有宵・佐藤宗眩・半田晴詠・久保田恵都予・森千紗・山田倫子・伊藤璃香
岩槻大師 新春鑑定会
 一月一日 八川林加・阿部治
 一月二日 杉本幸子・池田昌栄子・川又早苗・福田ゆみ
 一月三日 伊東直子・前田龍徳
品川プリンスホテル
 出演者 八名
 十二月三十一日 横小路 紬華・武田悠李

一月一日 半田晴詠・濱野延珠・前田龍徳
 一月二日 佐藤宗眩・三枝白繪・久保田恵都予
 昨年十一月の有宵会例会には、六十九名の方々が参加されました。

事務局だより
 明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。
次回の例会
 日時 三月二十八日（土）午後一時十五分から
 （終了後に懇親会を予定）
場所 足立区勤労福祉会館「ブルミエ」
講演
 ・伊藤璃香先生
 『平成二十七年古方開運について』一九星開運曆掲載文の解説
 ・半田晴詠先生
 『祐気取り』一実践例から
 ・福田有宵先生
 『方位学の全般について』一実占例から生じる得失の分析など

行事予定
初参り
 二月十九日（木）
 場所 岩槻大師さま
 埼玉県さいたま市
 岩槻区本町2-17-35
 048175611037

集合場所
東武野田線 岩槻駅
 午前10時30分
 正式参拝 十一時
 参加希望者は事務局までお申し込みください。

平成二十七年は未年で、優しいさと和らぎにあやかり、ゆつたりとした歩みで進みたいですね。本年も皆様のご協力をお願い致します。
事務局長 伊藤璃香

000編集後記
 皆様方からの投稿をお待ちいたしております。
 編集長 佐藤宗眩